

○司会 ただいまより本日のヒアリングを始めさせていただきます。

最初は、東京商工会議所の皆様でいらっしゃいます。

(東京商工会議所 入室)

○司会 ありがとうございます。お席にお進みいただきますようお願ひいたします。

それでは、早速ではございますが、これよりヒアリングと意見交換を始めさせていただきます。

冒頭、知事から一言お願ひいたします。

○小池知事 こんにちは。本日、東京都庁までお越しいただきました。東商の皆様方には日頃より東京都政へのご理解、ご協力をいただいております。改めて御礼申し上げます。世界が激動し、また、産業も大きく移り変わっております。金融につきましても、非常に株も乱高下しているようなところもございますけど、なかなか先行きを見通すことも難しいという中ではございますが、23区総合経済団体として、企業の活動への支援、また、中小企業の振興などにお努めいただいております。

それでは、物価上昇など、経済の活性化の問題多々ございますが、現場のお話を聞かせていただければと思います。ご意見、ご要望含めて、どうぞよろしくお願ひいたします。

○東京商工会議所（宮入副会頭・中小企業委員長） それでは、副会頭・中小企業委員長の宮入でございます。本日は貴重な時間を頂戴し、誠にありがとうございます。

まず初めに、イノベーションやデジタル関連施策、持続的な成長を後押しする施策など、中小企業の状況に応じた都のご対応に感謝申し上げたいと思います。さらに、事業承継の分野では、国に先駆けて各種政策を実行され、東商のビジネスサポートデスクの拡充、充実にもご尽力いただきてきていることを併せ、感謝申し上げます。また、当商工会議所の実施します小規模企業対策にご理解賜り、継続的に予算を確保していただき、対象企業からも大変感謝されております。この点につきましても御礼申し上げます。

さて、足元では、知事もご承知のとおり、中小企業でも賃上げは進んでおりますが、賃上げを実施した企業の約6割が人材確保あるいは定着のための防衛的な賃上げとなっております。地域を支える中小企業・小規模事業者が持続的な賃上げを行うためには稼ぐ力の強化が不可欠で、生産性向上あるいは付加価値向上のための新たな挑戦、価格転嫁あるいは適正化の一層の推進が必要と考えております。ぜひ本年7月に取りまとめました「中小企業対策に関する重点要望」の来年度予算への反映をお願いしたいと思っております。

東京商工会議所といたしましても、地域総合経済団体として、中小企業・小規模事業者支援を通じて、活力ある東京づくり、これに邁進していく所存でございます。何とぞよろしくお願ひ申し上げます。

さて、引き続きまして、伊藤専務より東商の活動についてご説明申し上げますので、よろしくお願ひいたします。

○東京商工会議所（伊藤専務理事） 伊藤でございます。お手元に資料1というものをご用意させていただきました。東京商工会議所が行っております経営支援活動について、概

略ご説明申し上げます。

資料の左上でございますけれども、中小企業の支援については、23支部、それから本部のビジネスサポートデスク、これを通じまして年間約13.4万件というような経営相談に対応しております。中ほどにあります都の支援拠点とも連携させていただきながら、東京都から措置いただきました施策の利用促進も図っているところでございます。また、右側にございますけれども、事業承継、これ非常に課題でございますが、「社長60歳『企業健康診断』」といった無料の、こちらからこういう受けなさい、受けたらいかがですかという形で企業の状況について診断をするような事業を行ったり、また、会社の株価を試算するサービス、こういった簡潔にできるようなもの、こういったようなものも提供して、早期の決断、実行、これを促しているところでございます。

下段のほうでは、経営課題に応じた企業支援活動を紹介してございますが、まず、やはり一番最近大きいのは人手不足、人材不足でございまして、東京においてもしかりでございます。求人相談活動あるいはキャリア人材サポートなど採用の支援活動、それから、様々な事例の紹介をしたり、あとやはりDXがなかなか進んでおりませんけれども、レベルに応じた人材育成とかツールの提供、こういったようなことを図っているところでございます。

中ほどでございますけども、賃上げ、コスト増への対応ということで、やはり価格転嫁、これがまだ道半ばでございますので、価格転嫁推進東京大会を通じた機運醸成、引き続きやってまいりたいと思っておりますし、様々な価格転嫁のサポートナビといったようなものを受注者向けに支援しているところでございます。それから、右側でございますけど、やはりイノベーションを進めていくというところが大事でございまして、中堅・中小企業とスタートアップの東商におけるマッチングのピッチなども行っております。また環境の問題につきましては、「Toshio攻めの脱炭素」事業という形で排出量削減に向けた支援、これも継続しているところでございます。

都内の経済の成長に向けて、東商として引き続き努力を行ってまいる所存でございます。

説明は以上でございますが、続いて要望内容について、小林のほうからご説明させていただきます。

○東京商工会議所（小林常務理事） 常務理事の小林でございます。私からは、資料2、要望書、概要につきましてご説明を申し上げます。

まずは、資料上段の記載の中小企業経営の課題でございますけれども、人手不足が深刻で、防衛的な賃上げを余儀なくされております。また、労務費の価格転嫁が進まず、幅広い中小企業に影響を及ぼしており、さらには業績が見込めない企業の廃業相談といったものも増えておるところでございます。不確実性が高い状況下におきまして、今後も持続的な賃上げを実現するためには、稼ぐ力の強化に向けた後押し不可欠であり、次の4点を要望させていただきたいと思います。

1つ目は、重点項目Iの成長投資の拡大による地域経済の発展についてでございます。

成長志向の企業に対する設備投資等の支援に加えて、施策効果が地域貢献型の企業に波及するよう、各種助成金の申請要件等にパートナーシップ構築宣言を追加していただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

2つ目は、重点項目Ⅱの事業再生・再チャレンジに向けた早期支援についてでございます。厳しい環境に置かれた事業者が取り残されることがないよう、金融機関、東京信用保証協会、支援機関等の連携を強化し、早期相談の促進をお願い申し上げます。

3点目は、重点項目Ⅲの取引適正化の定着についてでございます。価格転嫁の商習慣化に向け、官公需における取引適正化の徹底をお願い申し上げます。また、B to Cについては、付加価値も含めた適正な価格に対する消費者の理解促進といったものをお願いできればと思います。

4つ目は、資料裏面の中ほどにございます継続項目Ⅱの付加価値向上・販路開拓についてでございます。とりわけ国内販路開拓は、多くの中小・小規模事業者の稼ぐ力に直結する、速効性のある取組でございます。東京商工会議所が主催いたします総合展示会「ビジネスチャンス EXPO in TOKYO」におきましては、近年、労務費、資材費などの諸費用の高騰による影響が大きく出ております。安定的な事業実施に向けて、大幅な予算措置の拡充をお願いできれば幸いでございます。

ご説明は以上となります。今後とも東京都様と連携し、中小・小規模事業者の支援に邁進していく所存でございます。引き続きご支援のほど、よろしくお願ひ申し上げます。以上でございます。

○司会 ありがとうございました。

それでは、知事からコメントお願いします。

○小池知事 今、具体的に4点のご要望がございました。

私のほうから2点、まず、事業再生・再チャレンジに向けた早期の支援ということについてお話しさせていただきます。

まだ、厳しい経営環境にあるということで、中小企業の経営改善に向けた取組を後押しをするということは、都として重要と考えております。関係機関と連携しまして、中小企業の経営の改善など、金融と経営の両面から支援をして、金融機関や、また信用保証協会に対しましては、事業者のニーズに応じた制度融資の活用、また、相談への丁寧な対応など、協力を要請をいたしております。また、中小企業の振興公社などを通じて、中小企業の経営の改善を図るため、専門家を企業の現場に派遣をしまして、必要な助言、また、実情に応じた支援策の紹介なども行っております。商工会議所の皆さんの方でも大変熱心に相談に応じておられるということでございます。都としても、今後ともこうした取組を通じて、中小企業の経営をしっかりと後押しをしていきたいと考えております。

続いて、取引の適正化についてでございます。

中小企業は今、原材料、エネルギー価格の高騰と、それに加えて、為替、さらには関税と、もう次から次へと荒波が押し寄せるところでございますが、厳しい経営環境を乗り越

えて、将来に向けて事業が継続できますようにきめ細かな支援が必要だと考えております。取引の適正化に向けた相談の対応なども行い、価格交渉などのサポート体制も強化しておるところでございます。これら、都としての取組に加えて、消費者向けの普及を行うなど、皆様ともこれからも協力しながら、価格転嫁、一層推進をしていきたいと考えております。

その他ご要望につきましては、担当の局のほうからお答えさせていただきます。

○司会 田中産業労働局長、お願いします。

○産業労働局長 産業労働局でございます。いつもお世話になってございます。

私からは、まず、重点要望の1つ目であります成長投資の拡大による地域経済の発展についてお答えさせていただきます。

都内経済の活力維持いたしまして、さらなる成長を遂げるためには、中小企業の競争力の強化、またDXなど、イノベーション推進につながる取組をしっかりと後押しすることが重要だというふうに考えてございます。このため、東京都では競争力強化ですとか、あと、生産性向上に必要となる機械設備などの導入経費の助成につきまして、優良な事例を発信することで、利用の促進を図っておりますし、中小企業の稼ぐ力を強化していくというふうに考えてございます。

続きまして、継続の2つ目、付加価値向上・販路開拓ということで、「ビジネスチャンスEXPO in TOKYO」のお話でございますけれども、労務費や資材費などの高騰が続く中におきましても、皆様が主催されております「ビジネスチャンスEXPO in TOKYO」が安定的に実施され、また、中小企業の販路拡大が一層進むよう、都としても引き続き支援をしてまいります。以上でございます。

○司会 特にお話しいただきました4点について、今お答えさせていただきました。その他ご要望、頂戴しておりますので、併せて、目下、来年度の東京都の予算編成、進行中でございます。この中で一つ一つ具体的に検討、精査をさせていただければというふうに考えておりますので、引き続きのご理解を賜ればというふうに考えております。よろしくございますでしょうか。ありがとうございます。

それでは、これをもちましてヒアリングを終了とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

(東京商工会議所 退室)

○司会 続きまして、東京工業団体連合会の皆様でいらっしゃいます。

(一般社団法人東京工業団体連合会 入室)

○司会 ありがとうございます。お席にお進みいただきますようお願ひいたします。

それでは、早速ではございますが、これよりヒアリングと意見交換を始めさせていただきます。

冒頭、知事から一言お願いします。

○小池知事 皆様、こんにちは。廣瀬会長をはじめとする東京工業団体連合会の皆様方には、日頃から都政へのご協力、ご理解賜っております。御礼申し上げます。地域経済の活

性化、また雇用の創出において、中小製造業の皆さんは大変重要な役割を担っておられます。ものづくりの技術、その維持、発展に向けた皆様方のご努力については大変感謝申し上げるところでございます。

それでは、ものづくりの現場、今、どうなっているのかも含めまして、ご意見、ご要望を伺わせていただきます。どうぞよろしくお願ひいたします。

○司会 それでは、ぜひとも東京都へのご要望、よろしくお願ひいたします。

○一般社団法人東京工業団体連合会（廣瀬会長） 一般社団法人東京工業団体連合会の廣瀬でございます。よろしくお願ひいたします。

小池知事におかれましては、平素より当会の活動に対しまして、ご理解、ご支援を賜り、改めまして感謝を申し上げます。また、本日は公務ご多忙のところ、予算要望の機会をいただき、重ねて御礼を申し上げる次第でございます。

さて、ご高承のこととは存じますが、私たち中小企業を取り巻く経営環境は、原材料費やエネルギー価格、そして人件費の高騰、加えて不十分な価格転嫁の問題など、厳しい状況が続いております。

一方、おかげさまで、東京都からは手厚い各種支援をいただいておりますが、経営基盤の弱い中小企業におきましては、いまだ十分という状況ではなく、事業の継続、発展、そして都内の経済の活性化のためにも、引き続きのご支援をよろしくお願ひ申し上げます。

それでは、会員の皆様のご意見などを踏まえました要望書を提出させていただきましたので、これより説明を進めさせていただきます。

表紙をおめくりいただいた2枚目が項目一覧ですが、この場では1から3の重点項目について説明させていただきます。

次の1ページ、下段をご覧願います。重点要望の1、現下の重要な経営課題についてでございます。事項は4つございますが、価格転嫁対策です。業績が改善していないにもかかわらず、防衛的な賃上げが求められており、コスト上昇分の価格転嫁は不可欠な状況でございます。

しかし、国の調査でも価格転嫁率は約5割にとどまり、かつ我々のようにサプライチェーンの下流にある事業者ほど、大変厳しい状況でございます。これまででも機運醸成や価格交渉のアドバイスなどの支援をいただいておりますが、引き続きの充実をお願いいたします。

2ページをお開き願います。事業承継対策です。後継者の不在率は緩やかに減少していますが、経営者の高齢化は進んでおり、価値ある企業が廃業となれば、技術の散逸や雇用の喪失など、都内の経済の停滞につながりかねません。専門家による相談の充実、M&Aに要する経費の支援などを要望させていただきます。

次に、（3）DX・デジタル化対応ですが、人手不足の中、かつ中小企業の生産性向上にはデジタル技術の活用が重要でございます。これまでのご支援のおかげで進展はしておりますが、十分とは言えない状況です。機器等の導入やメンテナンスに関する相談及び経

費の支援などをお願いいたします。

続きまして、（4）資金繰り支援です。ゼロゼロ融資等の返済開始、金利の引上げなど、資金繰りに苦しむ中小企業も少なくありません。また、成長、発展に向けた取組には、新たな事業資金が必要となります。中小企業融資の柱である制度融資の信用保証料補助の拡充など、より負担なく資金調達できる支援メニューをお願いいたします。

3ページ目をお開き願います。重点要望の2、ものづくり人材の確保・育成についてです。厳しい人手不足の中、人材を確保、定着させ、さらに働き方改革にも対応した雇用環境が整備できるよう、引き続き支援をお願いいたします。

次に、都立職業能力開発センターにおいては、さらなる情報発信や最新ニーズに応じた機能強化に取り組んでいただきたいと思います。また、次世代を担う若者がものづくりに興味、関心が持てるような体験機会の提供などをお願いいたします。

次に、重点要望の3、防災等危機管理対応についてです。

まず、工場等の不燃化・耐震化、そして、近年激甚化している集中豪雨などに対する支援を引き続いてお願いいたします。加えて、自家発電設備などの支援、そしてBCPの策定、更新に係る支援などを引き続き要望させていただきます。最後に、サイバー対策でございます。ランサムウェアによる被害の約6割は中小企業というデータもあり、さらには、サイバー対策の有無で取引先を選別する大企業も始めております。日々、複雑化する問題に対しまして、相談、経費支援など、継続的な支援をお願いいたします。

以上、大変に雑駁でございましたが、何とぞご理解をいただきますようお願い申し上げます。

私のほうからは以上でございます。

○司会 ありがとうございます。

それでは、知事からコメントをお願いします。

○小池知事 何点かのご要望でございました。

私のほうから、まず、現下の重要な経営課題についてでございます。

お話をありましたように、原材料が高騰し、またエネルギー価格も、さらには人件費も、ものづくりを担う中小企業の経営を取り巻く環境というのは厳しい状況にあると聞いております。都は適正な取引に向けました相談対応、また価格交渉などの支援を充実をしてまいります。

M&Aを検討されておられる中小企業に対しては、譲渡契約の締結までの費用のサポート、また、承継を契機とした新たな事業展開への後押しをしております。

また、DXでございますが、その導入に当たりましては、戦略の策定、そこからシステム導入とその運用に至るまで、専門家の派遣、また経費の助成など、一貫した伴走支援を行っているところでございます。

それから、制度融資でございますが、経営の安定に向けたサポート、さらなる成長に向けた取組の後押しなど、中小企業の資金繰りなどもしっかりと下支えをさせていただいて

おります。

それから、防災などのB C P関連になりますけれども、中小企業の皆さん方が事業を続けるという意味で、昨今の予想を超えるような風水害、また地震や、お話をありましたランサムウェアなどのサイバー問題など、あらゆるリスクに的確に対応してレジリエンス、これキーワードでございます、これを強靭化をする、また高めていくということは重要でございます。都は区市町村が取り組んでいる耐震補強など、ものづくりの企業の皆様方が継続をして操業するための事業など、後押しをいたしております。また、災害時における事業継続、そして、早期の復旧に向きましたB C Pの策定の支援、そのための専門家の派遣、そして、その計画に実行に必要な設備の導入などのサポートを行っております。さらに、中小企業のセキュリティ強化でございますけれども、相談への対応、また機器の導入なども支援をいたしております。

今の幾つかご要望いただいた点でございますけれども、今後ともこうした取組を通じまして、都内の中小企業の成長をしっかりと後押しをしていく考えでございます。

続けて、その他のご要望について、担当の局のほうからお話し、お答えをさせていただきます。

○司会 それでは、2点目の項目について、田中産業労働局長、お願いします。

○産業労働局長 産業労働局でございます。いつもお世話になってございます。私からものづくり人材の確保と育成についてということで、産業労働局分をお話しさせていただければと思います。

都では、中小企業が多様な人材を確保いたしまして、職場への定着につながる、働き方改革を着実に進めることができますよう、相談窓口の設置ですとか、あと様々な知識、ノウハウを提供するセミナーの開催、専門家の派遣などを実施してございます。

また、職業能力開発センターでは、DXとかGX関連の機器を導入するなど、地域の様々なニーズに対応する訓練や講習を開催しているところでございます。さらには、ものづくり・匠の技の祭典の開催ですとか、あと職業能力開発センターと学校との連携による若者への体験機会を提供することなどに加えまして、さらに地域連携型のイベントの実施などを検討しているところでございます。

今後ともこうした取組を通じまして、中小企業の人材確保や育成に資する取組をしっかりと後押ししてまいります。

○司会 そして、この項目については、教育庁の岩野次長からもお願いします。

○教育庁次長 教育庁の次長の岩野でございます。よろしくお願ひいたします。ものづくり人材の確保、育成につきまして、教育庁分をお答えさせていただきます。

現在、全ての中学校で、このものづくり産業を含め、様々な企業での職場体験活動を行ってございます。また、小・中学校におきましては、子供たちの活動を記録、蓄積するキャリア・パスポート、このようなものを活用し、子供たちが将来のキャリアについて考える取組も進めてございます。さらに、工科高校を紹介するイベントでございます都立工科

高校ドリーム・フェスタを開催し、ものづくりの体験機会を提供するとともに、その楽しさや重要性など、中学生と保護者に周知しているところでございます。

引き続きこうした取組により、ものづくり人材の育成を図ってまいります。以上でございます。

○司会 会長からお話しいただいた3点の重点項目について、今お答えさせていただきました。その他の項目と併せて、目下、東京都の今、来年度の予算編成進行中でございますので、この中で一つ一つ具体的に検討させていただければというふうに考えておりますので、引き続きのご理解を賜ればというふうに考えております。

○一般社団法人東京工業団体連合会（廣瀬会長） ぜひ引き続きまして、次年度も予算のほうをつけていただき、今、知事はじめ、皆様方おっしゃられたとおりのことを展開していただけだと大変ありがたいと思っておりますので、甘えずに精進してまいりたいと思います。ぜひひとつ、今後ともご指導、ご鞭撻賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

○司会 ありがとうございます。

では、これをもちましてヒアリングを終了とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

（一般社団法人東京工業団体連合会 退室）

○司会 続きまして、日本アパレル・ファッショング産業協会の皆様でいらっしゃいます。

（一般社団法人日本アパレル・ファッショング産業協会 入室）

○司会 ありがとうございます。お席にお進みいただきますようお願ひいたします。

それでは、早速ではございますが、これよりヒアリングと意見交換を始めさせていただきます。

冒頭、知事から一言お願いします。

○小池知事 今日も東京都庁にお越しいただいております。日本アパレル・ファッショング産業協会の皆様方に、日頃から都政へのご理解、ご協力を賜っております。東京のファッショングの魅力発信、また、プレゼンスの向上や文化の振興などなど、アパレル産業の持続的な発展にご尽力いただいております。

今日は、今、都民の生活の最前線でそれぞれご努力いただいているその現状などお話しいただき、またご意見、ご要望を伺わせていただきたいと思います。よろしくお願ひいたします。

○司会 それでは、都政へのご要望、ぜひともお聞かせください。お願ひいたします。

○一般社団法人日本アパレル・ファッショング産業協会（鈴木理事長） 改めまして、日本アパレル・ファッショング産業協会の鈴木です。よろしくお願ひいたします。

早速ですけれども、令和8年度東京都予算等に対する要望を発表させていただきます。

当協会は、国内128社の正会員を擁するアパレル・ファッショング産業の業界団体です。近年、グローバルな環境変動や地政学的リスクの影響により、原材料価格の高騰やサプライチェーンの混乱が生じ、生産コストの増加と事業運営の厳しさが顕著となっております。

加えて、人材不足、安定的な採用、定着率の向上も喫緊の課題でございます。

こうした中にあっても、東京のアパレル・ファッショング産業が今後も力強く発展していくためには、業界の未来を担う人材の育成や東京のファッショングの魅力を世界に発信することなどにより、東京のプレゼンスを高めていくことが不可欠です。

つきましては、令和8年度東京都予算等に対して、以下のとおり要望いたしますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

要望は3つございます。1つ目は、アパレル・ファッショング産業を担う人材の育成です。

求職者や新卒者が求める仕事の価値観は大きく変化しており、働き方改革の推進が重要な課題となっています。人的資本への投資が注目される中、働く環境の整備を進め、業界の競争力を強化するため、当協会ではヒューマンリソース委員会を通じて、会員企業に対し、人材の採用、育成に特化した支援を行っております。

本年6月には人事小委員会にて、アルムナイで組織を強くしようというテーマでセミナーを開催し、講師を中心に参加企業間で情報交換を行いました。さらに、12月19日には、各企業の人事担当者が参加する人事部門情報交流会を開催予定です。約30社の会員企業が参加を予定しております。

また、ジャフィックプラットフォーム事業では、11月に一般社団法人日本ファッショング・ウィーク推進機構のご協力の下、東京テキスタイルスコープ会場にて、ジャフィック所属クリエーターと会員企業、そして、東京テキスタイルスコープに参加している物づくりの現場等をつなげるマッチングイベントを開催し、クリエーターの個性と企業のニーズを結びつける取組を実施いたしました。

東京都では、毎年、新人クリエーター、学生などを対象にファッショングコンクールを実施されており、世界で活躍できる若きデザイナーの発掘や育成に取り組まれております。この事業は新進気鋭の人材を輩出することで、日本人ブランドの付加価値を高め、産業全体の活性化にもつながる重要な取組だと考えます。業界における人材の確保、育成に対し、一層のご支援を要望いたします。

2つ目は、アパレル・ファッショング産業の魅力発信についてです。

東京都は、令和元年度より、東京のファッショング都市としてのプレゼンス確立を図ることを目的として、東京のまち全体でファッショングを盛り上げる機運を醸成し、幅広い層に東京のファッショングの魅力を発信する取組を補助する、地域特性に着目したファッショング産業振興事業を実施しております。補助対象の取組として採択された東京クリエイティブサロンには、当団体も参画しており、ファッショングを中心に、アート、音楽、フード、カルチャーなどの複数のイベントを集結して開催いたしました。昨年度は、日本橋、丸の内、銀座、渋谷、原宿、羽田、有楽町、赤坂、新宿、六本木の10エリアで実施し、日本のクリエイティビティーを積極的に発信することができました。

加えて、当協会が運営するJ∞QUALITY特別事業においても、渋谷ヒカリエにてFACTORY BRAND PROJECTとして参画し、盛況を博しました。東京の

ファッションやアパレルの魅力を国内外に向けて発信し、産業を活性化していくため、これらの取組を続けることで相乗効果を発揮するよう、事業を継続していただくことを要望いたします。

3つ目です。アパレル・ファッション関連企業が販路開拓や生産性向上などを行う上の経営支援です。

長期化する物価高騰や人材不足により、会員企業の経営も深刻な影響を受けております。当団体でも、企業の成長維持のための販路拡大策、また業務の効率化、省人化による生産性向上、利益拡大に取り組んでおります。

企業活性化委員会、DX委員会を中心となり、eコマース、ライブコマース、越境販売などの売上拡大の打ち手の情報交流、また生成AI技術を活用して、商品開発、店頭販売、顧客マーケティング等に関わる業務の効率化を賛助会員のIT、DX企業様協力の下、スピード感を持って改善の取組を行っております。

東京都としても、企業が行う新たな販路の開拓や生産性の向上のための取組を後押ししていただけるよう要望いたします。

当協会からの要望は以上です。よろしくお願ひいたします。ありがとうございました。

○司会 ありがとうございます。

それでは、知事からコメントお願いします。

○小池知事 私のほうから、3点のうち2点、お伝えしたいと思います。

まず、人材の育成でございます。

ファッション・アパレル産業の一層の活性化に向けて、若い才能を東京から生み出して、そして、世界で活躍できるように支援することは重要でございます。都では学生向けのファッションコンクールなどで将来を担う人材を発掘して、そして、育て上げていくサポートを進めているところでございます。

2つ目に、魅力発信ですけれども、東京のファッション、またアパレル産業の発展に向けて、業界団体の皆さんのが都内の各地域と連携してイベントを開いて、ファッションの魅力を発信する取組について後押しをしております。東京、パリ、また、ミラノのようなファッション都市へと高めていく、また、世界から憧れられる存在、もう十分そうなっているかと思いますけれども、さらに海外への発信力も強化をして、引き続き皆様方と連携を進めていく考えでございます。

その他ご要望について、担当の局のほうからお答えさせていただきます。

○司会 田中産業労働局長、お願いします。

○産業労働局長 産業労働局でございます。いつもお世話になってございます。

アパレル・ファッション関連企業の経営支援についてという、3つ目でございます。

都では、アパレルやファッションの中小企業の皆様が国内外で新しく販路を開拓できますよう、展示会ですか、あとECサイトへの出店に向けたサポートを行ってございます。また、デジタル技術の導入によりまして、生産性を高める取組への後押しを行っていると

ころでございます。

これらの取組を進めまして、皆様方の経営力の向上を着実に支援してまいりたいと考えてございます。以上です。

○司会 3点のご要望につきまして、今お答えさせていただきました。具体的には来年度の東京都の予算編成の中で一つ一つ検討させていただければというふうに考えておりますので、引き続きのご理解を賜ればというふうに思います。ありがとうございます。

それでは、これをもちましてヒアリングを終了とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

（一般社団法人日本アパレル・ファッショング産業協会 退室）

○司会 続きまして、日本ファッショング・ウィーク推進機構の皆様でいらっしゃいます。

（一般社団法人日本ファッショング・ウィーク推進機構 入室）

○司会 ありがとうございます。お席にお進みいただきますようお願いいたします。

それでは、早速ではございますが、これよりヒアリングと意見交換を始めさせていただきます。

冒頭、知事から一言お願いします。

○小池知事 こんにちは。日本ファッショング・ウィーク推進機構の皆様方には、都政へのご理解、ご協力を賜っております。ありがとうございます。イベントの開催や、またデザイナーの育成など、東京のファッショングの魅力の発信、そして、ファッショング産業の発展にご尽力いただいております。今日は現場の実態に一番お詳しい皆様方からお話を伺い、また、ご意見、ご要望を伺う機会でございます。短い時間ではございますが、どうぞよろしくお願いいたします。

○司会 それでは、皆様方から東京都へのご要望、ぜひよろしくお願いします。

○一般社団法人日本ファッショング・ウィーク推進機構（下地理事長） よろしくお願いいいたします。どうもありがとうございます。いつも大変お世話になっています。

まず、要望書でございますが、我々、一般社団法人日本ファッショング・ウィーク推進機構、JFWOというふうに呼ばせていただいております。日本の繊維・ファッショング産業のさらなる国際競争力の強化、発展を図ることを目的に、川上から川下にわたる繊維・ファッショング製造業者、ファッショングデザイナー、流通業者が大同連携しまして、経済産業省の支援も受けて、2005年に設立されました。

コレクション事業として実施している「TOKYO FASHION WEEK」は、楽天グループ株式会社と冠スポンサー契約を締結しまして、「Rakuten Fashion Week TOKYO」として開催いたしております。ファッショングビジネスの国際競争力強化を図るため、我が国の高品質、高感度な繊維素材も含め、ファッショングのクリエイション力を世界に向けて効果的に発信しております。

また、テキスタイル事業としまして、「TOKYO TEXTILE SCOPE」を開催し、シーズントレンドに沿った高品質、高付加価値のテキスタイルを提案しております。

す。中国、香港、韓国、台湾等のアジア圏のほか、米国や欧州バイヤーより引き合いにより、日本素材への関心が高まりを見せておる途中でございます。当事業を通じて、内外に日本の優れた繊維・ファッショング製品、サービスなどの情報を発信いたしております。

近年、世界のファッショング界におきましては、上海、北京、ソウル、台北といった都市が台頭いたしております。上記のような取組を通じまして、東京をさらに、世界でオシリーワンの繊維・ファッショング基地として確立し、アジアの中心的なファッショング発信拠点として、世界四大ファッショング都市と肩を並べるプレゼンスの確保を目指しております。

あわせて、共同主催として東京都と開催しております「TOKYO FASHION AWARD」、「FASHION PRIZE OF TOKYO」や「TOKYO CREATIV SALON」におきましても、企画、運営協力を実施いたしております。

つきまして、令和8年度東京都予算に応じまして、実現方のほうをぜひご配慮くださいますようお願ひいたしたいと思います。

また、要望でございますが、東京都と当機構が主催します「TOKYO FASHION AWARD (TFA)」事業におきましては、東京を拠点とするファッショングデザイナーが世界の舞台へと飛躍するサポートを目的に掲げ、平成26年度の事業開始より、今年で11回目を迎えております。これまで延べ76の有力なデザイナーを選出してまいりました。受賞者からは、パリ、ミラノ、ロンドン、ニューヨークなどの、それらのファッショング・ウィークでもショー等を実施して活躍、世界的な賞レースのグランプリなどを獲得するデザイナー・ブランドを多く輩出いたしております。

平成29年からは、「TOKYO FASHION AWARD」より1ランク上の既に国内で十分な知名度があり、売上げを築いているデザイナーをターゲットにした「FASHION PRIZE OF TOKYO」も開始いたしました。「東京のポテンシャルがあるデザイナーに、クリエイションとビジネスの両面で飛躍する機会を与えるアワード」としての位置づけを確立してまいりました。

今年度も、パリ現地でのショールーム及びパリファッショング・ウィークでのフィジカルショーを開催し、日本での凱旋ファッショングショーも実施する予定です。長年にわたる実績により、本アワードはデザイナー・ブランドにとって、国内最高峰の賞として非常に高い目標となっております。

海外からの本事業の評価として、「TOKYO FASHION AWARD」がパリで実施するビジネスマッチング展示会「showroom. tokyo」は、世界各国の著名なバイヤーが来場する場となっております。東京の勢いあるデザイナーを見るならこの展示会であると広く認知されております。「FASHION PRIZE OF TOKYO」も、支援終了後もパリファッショング・ウィークで活躍するデザイナーを輩出し、海外の有名メゾンやブランドとのコラボレーションを実現するなど、日本を代表するブランドを世界に送り出しております。

今後も、フィジカルショーの発表、ビジネスマッチング展示会及び国内外での店頭販売を含めた活動支援により、グローバルに飛躍を目指すデザイナーに対し、より一層様々な面でサポートしてまいります。

未来の東京のファッションにとって大変重要な「TOKYO FASHION AWARD」、「FASHION PRIZE OF TOKYO」の事業について、令和8年度につきましても継続していただきますよう、何とぞお願ひいたします。ありがとうございます。

○司会 ありがとうございます。

それでは、知事からコメントお願ひします。

○小池知事 東京の優れたファッションの魅力を世界に向けて発信をして、産業振興に結びつけるということ、大変重要だと考えております。都は若手の有望なデザイナーが世界を舞台にして活躍できますように、人材の発掘を進めるほか、特に優れた才能を持つ方について、パリでのショーを開催できますように後押しをしているところでもございます。今後も皆様方と連携しまして、グローバルに飛躍を目指すデザイナーさんを支援することで、ファッションやアパレル産業の振興に力を入れていきたいと考えております。

私からは以上です。

○司会 今、知事から話がありましたとおり、具体的に事業に必要な予算につきましては、今、目下、来年度の東京都の予算編成進んでおりますので、この中で検討させていただきたいというふうに考えておりますので、引き続きのご理解を賜ればというふうに考えております。よろしゅうございますでしょうか。ありがとうございます。

それでは、これをもちましてヒアリングを終了とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

(一般社団法人日本ファッション・ウィーク推進機構 退室)

○司会 続きまして、東京都商店街振興組合連合会の皆様でいらっしゃいます。

(東京都商店街振興組合連合会 入室)

○司会 ありがとうございます。お席にお進みいただきますようお願ひいたします。

それでは、早速ではございますが、これよりヒアリングと意見交換を始めさせていただきます。

冒頭、知事から一言お願ひします。

○小池知事 東京都商店街振興組合連合会の皆様方には、日頃より都政へのご理解、ご協力を賜っております。地域の経済の拠点である商店街、ただ商品を売るというだけではなく、防災や子育て、憩いの場の提供など、都民の日常生活をお支えいただいて、重要な役割を担っておられます。商店街の振興に向けての精力的なご活動に感謝を申し上げ、また、今日はそれぞれ、消費者も行動も日々変わっていることかと思います。現場のお声をお聞かせいただきたいと思います。ご意見、ご要望も併せて、どうぞよろしくお願ひいたします。

○司会 それでは、都政へのご要望、ぜひともお聞かせいただきますようお願いいたします。

○東京都商店街振興組合連合会（山田理事長） 東京都商店街振興組合連合会の山田でございます。よろしくお願ひいたします。

小池都知事、東京都の皆様には日頃より商店街の活動に対し、ご理解とご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。また、本日は、このような要望の機会をいただき、誠にありがとうございます。

それでは、私のほうから、今回の要望につきましてお話をさせていただきたいと思います。要望は6項目ございますが、本日は4つに絞って申し上げます。

まず初めに、商店街チャレンジ戦略支援事業等商店街支援策の継続・拡充についてでございます。

商店街チャレンジ戦略支援事業をはじめとした商店街振興事業は、小池知事のご尽力により、東京都からのご支援をいただき、イベント事業を中心に全ての面で強化され、よりよい事業として構築をされております。こうした事業は、昨今のエネルギー、原材料価格の高騰、人件費の高騰と人材不足等による財政状況が厳しい商店街にとりまして、活性化を図る上で大きな後押しとなっております。地域経済、社会に潤いと活気をもたらすとともに、地域における安全・安心なまちづくりに大きく貢献をしております。引き続きご支援のほどをよろしくお願いを申し上げます。

続きまして、2つ目でございます。商店街構成員に対する経営支援についてでございます。

人件費の高騰、原材料の高騰などが続く中で、価格転嫁の推進は中小・小規模企業にとっても大変厳しくなっております。商店街のお店からは、値上げしたら売上げが減ってしまった、人件費を抑えるためにアルバイトを減らして家族で働くしかないといった切実な声が届いております。商売では昔から、三方よしと申します。お客様は満足、お客はもうかる、そして地域社会も栄えるというふうにならなくてはいけません。どうか適正な価格転嫁を推進していくためのご支援をお願いをいたします。例えば価格転嫁に成功した事例の開示や価格転嫁はやむを得ないというマインドの醸成など、支援をお願いをいたします。

続いて、3つ目でございます。商店街の若手活躍推進と担い手確保についてでございます。

高齢化と人口減少が進展する中で、商店街が今後も引き続き発展していくためには、商店街の若手活躍推進と新たな担い手の発掘、商店街での新規起業の育成等が重要でございます。私どもとしては、若い人が積極的に活動できるような環境を商店街に整えていく必要があると考えております。つきましては、商店街や商店街の連合会等の次世代を担う青年部の若手組織の育成や活動への負担軽減策、若い人たちが商店街で働きやすい環境の構築、商店街空き店舗への新規出店者への優遇措置等、手厚いご支援をよろしくお願い申し上げます。

6つ目でございます。商店街の業務的支援につきましてでございます。

I TからDXと、技術がどんどん進化をしております。商店街や会員事業者もこうした技術を使って、業務の効率化をしていかなければなりませんが、電子申請や申請書類の作成、さらにはインボイス制度への対応など、設備投資や外部専門家への依頼などの負担も大きくなっています。商店街及び商店事業者が効率的に事業を実施できるよう、商店街事務局組織の強化に資する人材確保並びに組織の維持運営に関する支援をよろしくお願ひ申し上げます。また、各申請書類作成の負担軽減につきましてもご検討をいただきますよう、よろしくお願ひをいたします。

以上でございます。商店街のさらなる発展に向けた進展を進めていくため、ぜひとも要望の趣旨をご理解いただきまして、都知事並びに東京都の皆様のお力添えをいただきたいと存じます。どうぞよろしくお願ひいたします。

○司会 ありがとうございました。

それでは、知事からコメントをお願いします。

○小池知事 何点かのご要望、そしてまた、商店街の今の求められる点など、お話しいたきました。商店街といいますと、住民の方々の日常の買物を支えることと、そしてまた、先ほども申し上げましたが、コミュニティーの核として重要な役割を果たしておられます。都は商店街の活性化に向けて、にぎわいをもたらすイベントの開催、そのほか環境や防災など、行政課題の解決につながる、結びつく商店街などの取組を後押しをいたしております。また、お話ありましたデジタル技術、これを活用しまして、来街者、まちに来られる方々の利便性向上に取り組む商店街を支援するとともに、商店街が利用者層の拡大のために行われる子供向けのイベントへの新たな助成メニューを設けるなど、充実を図っているところでございます。引き続き、将来を見据えました戦略的な取組に自らチャレンジなさる商店街を後押しをしてまいりたいと考えております。

次に、若手についてであります。商店街が将来に向けても発展できるように、商店街の活性化への貢献が期待されます若手、また女性のグループが企画するイベントへの実施に對しての手厚い支援を行っておるところでございます。新たな担い手を増やすために、若手また女性に対して、販売や経営の経験を積むことのできる、例えばチャレンジショップを開設をしておりまして、また、商店街への出店時に資金面での支援をするなど、新たな開業の後押しもいたしております。よって、今後とも新たな担い手づくりを含めまして、様々な取組で魅力のある商店街づくりに向けた後押しを行ってまいり、また、さらなる発展につなげていきたいと考えております。

その他ご要望もございました。担当局のほうからお答えさせていただきます。

○司会 田中産業労働局長、お願いします。

○産業労働局長 産業労働局でございます。いつもお世話になってございます。

私から、まず、2つ目にいただきました商店街構成員に対する経営支援ということで、価格転嫁のお話をいただきました。原材料などの価格高騰が続く中にありまして、中小企

業がコストの上昇を反映した適正な価格で取引を行って、経営状況を改善できるよう支援することは重要だというふうに考えてございます。都では、取引の適正化に向けました相談対応ですとか、あと価格設定などのサポートを行ってございまして、また支援事例の発信も行っているところでございます。今後はこれらの取組に加えまして、消費者向けの普及を行うなど、価格転嫁を一層促進してまいります。

続きまして、要望書では6番目にありました商店街の事務的支援ということでございます。地域コミュニティーの担い手として重要な役割を果たしております商店街が今後とも発展していく様子、都は人材育成など、商店街の組織力強化などにつながる取組に対して支援しているところでございます。

今後とも商店街のさらなる振興に向けて、支援を行ってまいります。以上でございます。

○司会 理事長からお話しいただきました4点の項目について、今、都としてお答えをさせていただきました。ほかの項目もございますので、併せて、具体的には来年度の予算編成の中で一つ一つ精査をしてまいりたいというふうに考えておりますので、引き続きのご理解を賜ればというふうに思います。よろしゅうございますでしょうか。

それでは、これをもちましてヒアリングを終了とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

(東京都商店街振興組合連合会 退室)

○司会 続きまして、日本動画協会の皆様でいらっしゃいます。

(一般社団法人日本動画協会 入室)

○司会 ありがとうございます。お席にお進みいただきますようお願いいたします。

それでは、早速ではございますが、これよりヒアリングと意見交換を始めさせていただきます。

冒頭、知事から一言お願いいたします。

○小池知事 こんにちは。今日もよろしくお願ひします。また、日本動画協会の皆様方には日頃より都政へのご理解、ご協力いただいております。御礼申し上げます。世界が注目する日本のアニメーション文化、そして産業の持続的な発展に向けて、制作技術の開発や人材育成に、さらにはアニメ東京ステーションの運営などにご尽力いただいております。今日は皆様方のご意見、ご要望を伺わせていただきたいと思います。どうぞ、限られた時間ではございますが、よろしくお願ひいたします。

○一般社団法人日本動画協会（石川理事長） よろしくお願ひいたします。

では、1ページ目をご覧くださいませ。まず、東京都様には一昨年10月にアニメ東京ステーションを、弊協会とともに、ご開設をいただきまして、誠にありがとうございます。おかげさまをもちまして、11月末現在、国内外より24万人を超える方々にご来館をいただいております。その施設を起点といたしまして、東京都のアニメーション文化・産業、そしてインバウンドを含めた観光が、より一層振興されますように引き続き運営に尽力して

まいります。

さて、日本のアニメーション産業市場でございますけれども、2024年には過去最高の約3兆8,000億円を記録いたしました。特に海外の市場が、2023年の約1兆7,000億円から約2兆2,000億円と大きく伸びてございます。これは、日本のアニメーションが国境を越えて、海外のファンを同時に獲得していることの表れだというふうに思っております。さらに、生成AIをはじめとして、新しい表現の領域と技術がアニメーションの世界にも大きな影響を与えて、そのビジネスはグローバルな変革の時代を迎えてるというふうに思っております。

しかしながら、日本のアニメーション業界は、新人を含めた人材の登用と育成、技術の継承と開発のテンポはいまだ不十分であるというふうに痛感しているところでございます。具体策におけるご支援のアップデートを協会とともに進めていけましたら幸いでございます。

次に、同じく1ページ目のアニメ東京ステーションへのご支援でございます。アニメ東京ステーションはグランドオープンから2周年を迎えまして、11月末現在、累計来館者24万人を超えて、堅調に来館者増加も続けております。来館者全体における海外からのお客様比率も増えまして、アニメインバウンド施設としての成果が現れてまいりました。また、2階のフロアの企画展では最新作の話題作の作品展示を強化いたしまして、地下フロアでは過去の名作やクリエイティブにポイントを置いた展示を実施しております。1階のプラットフォームではアニメの無料上映会やワークショップも毎週開催しております。さらに、海外からのお客様のアテンドにコミュニケーターを配置するなど、各フロアのおもてなしを分かりやすく打ち出し、ニュース発信することで、施設のユニークな魅力の開発と発信を続けております。

また、1年に2回開催するスペシャルイベントでございますけれども、人気声優ゲストを迎えたトークと朗読劇のライブ上映をレギュラー化いたしまして、公式ユーチューブチャンネルでの無料アーカイブ配信も実施し、今月からは新配信番組も始まりました。また、施設オリジナル講座をお子様向け、そして大人向けに分けて提供するなど、アニメ東京ステーションのプランディングを前進させております。あわせて、メタバースでは30万人ユーザーを抱えまして、新作ゲームの提供を果たしまして、地下のフロアにおきましては、アナログ保管からデジタル・アーカイブへの権利処理とその閲覧システムの構築に向けた作業が進行中でございます。

いよいよ3年目を迎えるアニメ東京ステーションの26年には、飛躍と成長の年となると思っております。引き続きのご支援をどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

続いて、2ページ目の東京アニメアワードフェスティバルの発展へのご支援でございます。東京アニメアワードフェスティバルは次世代のアニメーション制作を担う人材の発掘、育成等を行い、東京のアニメーション産業の発展、振興を図ること及び東京の魅力を発信し、東京の観光振興に資するという目的のために、日本動画協会が主催し、東京都様には

ご共催いただいております国際アニメーション映画祭でございます。2017年に会場を池袋に移しまして、毎年、世界中から数多くのアニメーションの関係者やファンが訪れてくださっています。

今年3月の東京アニメアワードフェスティバル2025は、例年のとおり、リアルとオンラインを併用いたしまして開催しました。結果、75のプログラムと1万7,000人のお客様にご参加いただきました。来年3月に開催する東京アニメアワードフェスティバル2026年につきましても、日本国内外のすばらしい作品をより多くの観客に届けるとともに、東京の魅力もより一層発信できるように邁進してまいります。

さて、来る2026年度以降のフェスティバルでございますけれども、これまでの東京アニメアワードフェスティバルの実績を踏まえつつ、国内、海外のファンやメディアの皆様に多数参加いただけますように、より一層、国際的なフェスティバルにさせていただきたく、お願いを申し上げます。

そして、2027年度の本格開催を見据えまして、2026年秋に東京でイベントを開催させていただきたく存じます。このイベントでは、国内外のアニメファンが数多く来場いただけますように、多様なプログラムをご用意いたしたいと思って、今、準備委員会をつくりました。

以上、東京アニメアワードフェスティバルの発展のためにぜひご支援をお願いしたいというふうに思っております。

最後に、3ページ目のアニメ関連観光情報等発信事業への支援でございます。令和7年度も「GO TOKYO」における「アニメ・マンガ関連観光スポット」などに掲載するスポット及びイベント情報の多言語化事業を実施していただいております。この事業は、海外からお客様が大幅に増加している中、アニメ・マンガを集客キーワードとしたインバウンド施策として大変効果的かつ有意義な取組でございます。引き続きご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

以上の要望をさせていただきますけれども、本日はお時間もございませんので、特にお願いいたしたい東京アニメアワードフェスティバルの発展の支援につきまして、ご回答をお願いできればというふうに存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

○司会 ありがとうございます。

それでは、知事からコメントお願ひします。

○小池知事 ただいま数字でも上げていただきましたように、アニメは海外からも大変高い人気があります。そして、観光客の誘致につながる優れたコンテンツの一つとなっております。東京アニメアワードフェスティバルに関連してですが、より国際的なイベントへと進化させる取組は、日本のアニメのすばらしさをさらに海外の方々に知っていただく絶好の機会となるため、都としてもしっかりと後押しをしたいと考えております。

こうした取組によって、世界に向けて東京の優れた魅力を積極的に発信をして、旅行者の誘致へと結びつけていきたいと考えております。

私からは以上でございます。

○司会 3番目の項目について、今お答えさせていただきました。このほかの項目も併せて、来年度の東京都の予算編成の中で具体的に検討させていただきたいというふうに考えておりますので、引き続きのご理解を賜ればというふうに考えています。

○一般社団法人日本動画協会（石川理事長） ありがとうございます。どうぞ引き続きよろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。

○司会 ありがとうございます。

それでは、これをもちましてヒアリングを終了とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

（一般社団法人日本動画協会 退室）

○司会 続きまして、東京私立初等学校協会、東京私立初等学校父母の会連合会の皆様でいらっしゃいます。

（東京私立初等学校協会・東京私立初等学校父母の会連合会 入室）

○司会 ありがとうございます。お席にお進みいただきますようお願いいたします。

それでは、早速ではございますが、これよりヒアリングと意見交換を始めさせていただきます。

冒頭、知事から一言お願いします。

○小池知事 皆様、こんにちは。東京私立初等学校協会、そして東京私立初等学校父母の会連合会の皆様方には、日頃から都政へのご理解、ご協力を賜っております。どうもありがとうございます。また、教育の様々なニーズに応えて伝統や特色ある教育を展開されておられる私立学校の、私立の小学校や、また特別支援学校を支えるために、日々、皆様ご尽力いただいております。改めて感謝申し上げます。

それでは、今日は皆様方、現場の声を、またご意見、ご要望を伺う機会でございます。限られた時間ではございますが、どうぞよろしくお願いいいたします。

○東京私立初等学校協会（田代会長） では、よろしくお願いいいたします。東京私立初等学校協会の会長、立教小学校の校長の田代正行と申します。よろしくお願いいいたします。

小池都知事をはじめ、東京都生活文化局の皆様には、私学振興にお力添えをいただきおりまして、誠にありがとうございます。他府県の先生方より東京は優遇されているから羨ましいってよく言われるんですけども、さりながら、本日は、公立、私立、全ての子供たちが将来への希望を持って自ら学び育つためにも、お願いの儀がございまして参上いたしました。知事におかれましては、各団体からの要望をたくさん受け入れられている様子、モニターで見ていましたんですけども、さぞかしお疲れと存じます。令和8年度の私学振興予算等に関する要望書や概要版をお渡しいたしましたけども、東初協からは、東京私立初等学校協会からは要望が多いとか、厚かましいというようなことをそんなふうにおぼしめされては困るなと思ってはおるんですけども、本意ではございませんが、お疲れのところ、何か心も体もお疲れのところ、むちを打つようなことになってはいけないなど

思うので、本日は、私のほうから1点に絞ってお願ひを申し上げます。これは全ての要望に通底することでございます。何かと申しますと、公私間の格差を極力是正していただきたいというお願ひでございます。

私たちの学校、豊島区にございます。新校舎の建設中のために、真和中学校という中学校の校舎をお借りして、今、1年を過ぎようとしておるんですけれども、この施設の賃料は月650万円を超えます。これでも前区長様の骨折りでお安くしていただいている額なんですけれども、公立の学校さんがお借りする場合は、賃料は無料となるようです。公立の場合、地方公共団体が運営している学校なので、当然と言えば当然なのでしょうが、我々私立小の者たちはこの引っ越し期間中にも歴然とした差を感じております。

都内の私立小は僅か56校なんですけれども、建学の精神に基づき、私学人としての誇りを持ち、外国語教育、体験学習など、各種の先駆的プログラム、カリキュラムを開発、または学校選択の自由を保障してまいりました。

一方、公立の小学校はどのようなお子様も受け入れ、学習指導要領にのっとり、全てのお子様に教育を保障しているという点は大変すばらしく、頭の下がる思いでございます。

小池知事が東京都教育施策大綱で、緊迫する国際情勢、人口減少、少子高齢化に加え、デジタルが急激に進展する大変革の時代です。未来を切り開くのは人、その人を育てる教育は言うまでもなく最重要事項の一つですと発信されておりましたとおり、東京、いや、日本をこれから支えていくのは子供たちです。公立、私立を問わず、大切な子供たちの未来のために、公私間の格差を極力是正していただくことを切にお願い申し上げます。

要望書の中に、35人学級を実現のために公私間に差をつけず、等しく財政支援が行われるように要望いたしますとか、教員の大幅な増加のため、公立小学校と変わらぬ、大幅な助成を要望いたしますとか、国の進めるG I G Aスクール構想により、タブレット端末支給において、私立小も対象としていただいた点は感謝につきませんが、私立学校は3分の1が設置者負担で、国公立学校は公費による全額負担となっております。本施策が国家的事業であることに鑑み、東京都としても全額補助に向けてご助力を願えればと思っております。

あるいは、いじめ対策において、第三者委員会による調査が必要となることもござります。第三者委員会の設置には多額の費用が発生し、私立学校の運営を大きく圧迫します。国公立においては公費負担とされているものについては、私立学校においても同様にすることを強く希望いたします。と、るる述べさせていただいておりますが、東京の目指す教育を実現するためにも、私立学校は公立学校と同じく、公教育を担う機関であることを深くご留意いただき、格別のご高配を賜りますようにお願い申し上げます。

この後、父母の会の会長の池田のほうからお話をさせていただきます。私からは以上です。

○東京私立初等学校父母の会連合会（池田会長） 父母の会、会長を拝命しております池田と申します。よろしくお願ひいたします。私のほうからは、幾つかございますが、本日

は1点に絞ってお願ひに参りました。

現在、東京都の私立中学校におきましては、年間10万円の補助が出ているのが現状でございます。これは補助制度として、所得制限なしで補助をされているようですが、小学生も実は同じ義務教育でございます。なぜに小学校の私立小学生にはその恩恵がないのかというのものが多数、私ほうにも質問が寄せられております。大体の私立中学校、小学校は統いて小・中とございます。その中で、小学校はなくて、なぜ中学校なの。高校もそのような無償化の方向に進んでおり、小学生に対する、全く格差がそこに出ているというのが現状でございます。ぜひお願いでございます。毎回、これは申し上げておりますが、ぜひ私立小学生にまで同じ補助制度を拡充していただきたい、これをお願ひとして私ほうからはお話しさせていただきたいと思いました。ありがとうございます。

○司会 どうもありがとうございます。

それでは、知事からコメントをお願いいたします。

○小池知事 それでは、私から一言。個性豊かな魅力ある教育を実践しておられる私立小学校で教育条件の維持や向上を図ることは重要であると認識いたしております。私立小学校の運営の根幹をなす経常費補助をはじめ、生徒の安全を確保する上で重要な学校施設の耐震化や省エネ化、この推進についても支援をいたしておりまして、引き続き都として適切に対応してまいります。

その他ご要望もございました。担当局のほうからお答えさせていただきます。

○司会 古屋生活文化局長、お願いいいたします。

○生活文化局長 古屋でございます。日頃から建学の精神に基づき、先駆的、個性的で特色ある教育の実践、そして、人材の育成にご尽力をいただきしております、ありがとうございます。

ご要望についてでございますけれども、各学校が個性豊かな魅力ある教育を行えますよう、経常費補助をはじめ、学校のデジタル環境整備や防災力の向上の取組に対する補助など、多様な補助を行っているところでございます。今後とも皆様と十分にコミュニケーションを取り、連携しながら、私学の振興、発展に向けた取組を進めてまいりたいと考えているところでございます。

また、父母の会のほうからも保護者の皆様の負担についてお話をあったところでございます。都としましては、私立学校に通う保護者の負担軽減に向けて、今後とも経常費補助の適切な維持を図り、授業料減免に対する特別補助によりまして、学校の具体的な取組を支援していきたいと、このように考えてございます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

○司会 今、都としてお答えさせていただきましたが、ご要望自体は多岐にわたっていらっしゃいますので、今、来年度の東京都の予算編成進行中でございます。この中で一つ一つ具体的に検討させていただきたいというふうに考えておりますので、引き続きのご理解をいただければというふうに考えております。よろしゅうございますでしょうか。ありがとうございます。

それでは、これをもちましてヒアリングを終了とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

（東京私立初等学校協会・東京私立初等学校父母の会連合会 退室）